

WG1 中間報告

- 1 外国人等に配慮した非常用放送設備の音声警報メッセージの考え方(案)【9月21日時点版】の概要
- 2 外国人来訪者等に配慮した火災時等の情報伝達・避難誘導を目的とするデジタルサイネージ活用指針(案)【9月21日時点版】の概要
- 3 消火器のピクトグラムを活用した情報伝達の方策(案)【9月21日時点版】の概要

1 外国人等に配慮した非常用放送設備の音声警報 メッセージの考え方(案)【9月21日時点版】の概要

火災感知器が作動した信号等を受けて、自動で在館者に対して放送を行う場合の外国人等に配慮した情報伝達のあり方を検討した。

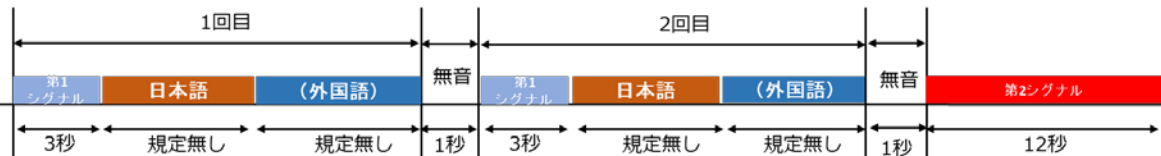
日本語メッセージの現行基準

| 放送種別 | 根拠 | 感知器発報放送 | 火災放送 | 非火災報放送 |
|-------|--------------------------|--|---|---|
| 定義 | 非常警報設備の基準(昭和44年消防庁告示第6号) | 感知器が発報した場合又はこれに準ずる情報を入手した場合に行う放送 | 火災の発生が確認された場合又はこれに準ずる情報を入手した場合に行う放送 | 火災の発生がないことが確認された場合に行う放送 |
| 声色 | | 女声 | 男声 | 女声 |
| 放送内容 | | ①自動火災報知設備の感知器が作動した場所 ②火災発生の確認中である旨の情報 | ①火災が発生した場所 ②避難誘導 ③火災である旨の情報 | ①自動火災報知設備の感知器の作動は非火災報であった旨の情報 |
| 放送の構成 | | 「第1シグナル、メッセージ、無音1秒」を一単位として、連続して2回以上繰り返す(※1) | 「(第1シグナル、メッセージ、無音1秒)×2+第2シグナル」を一単位として、10分以上連続して繰り返す(※2) | 「第1シグナル、メッセージ、無音1秒」を一単位として、連続して2回以上繰り返す(※1) |
| 文例 | | 「ただいま〇階の火災感知器が作動しました。係員が確認しておりますので、次の放送にご注意ください」 | 「火事です。火事です。〇階で火災が発生しました。落ち着いて避難してください。」 | 「さきほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。ご安心ください。」 |

(※1) 感知器発報放送・非火災放送の構成 (右図で2単位)



(※2) 火災放送の構成 (右図で1単位)

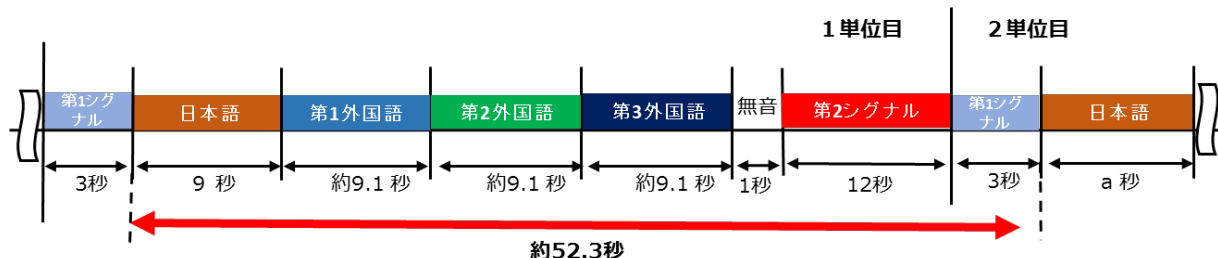


放送設備の課題1

多数の外国語を付加した場合、日本語メッセージを繰り返すまでの間隔が長くなってしまわないか。

⇒外国語を付加する時間の上限を定め、各施設の実態に応じてその時間内で外国語を付加できるようにしてはどうか。

【火災放送に複数の外国語を付加した例】 ※外国語時間は英・中・韓国語の各メーカー平均値9.1秒で記載。



放送設備の課題2

現行の日本語メッセージを見直し、外国人来訪者等でも理解しやすいものとする必要はあるか。

⇒「やさしい日本語」を導入することで、外国語を付加せずとも一定割合以上の外国人来訪者等への避難誘導・情報伝達が可能ではないか。

【ガイドライン骨子でまとめられた外国人来訪者等のニーズ等(抜粋)】

○ 多言語での情報伝達について、日本語のほか、第1に英語、次いで中国語、韓国語を優先することを基本とし、施設を利用する外国人来訪者のニーズ等に応じて柔軟に対応することが有効。

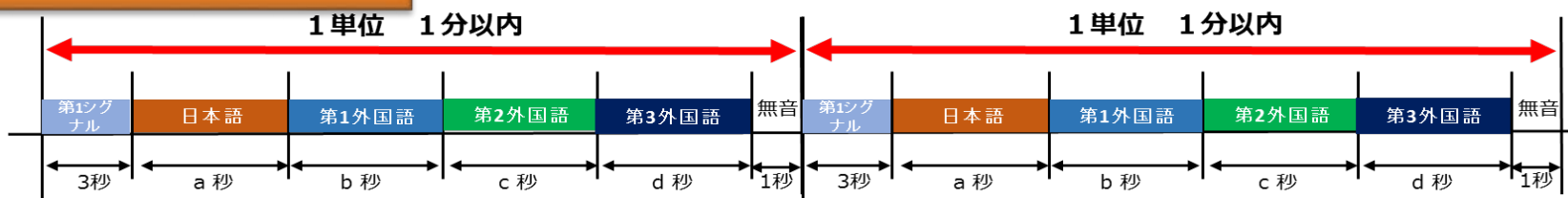
※ 日本語での情報伝達の際に簡易な日本語(やさしい日本語)を使用することも外国人来訪者への情報伝達に有効。

外国語メッセージ付加の考え方

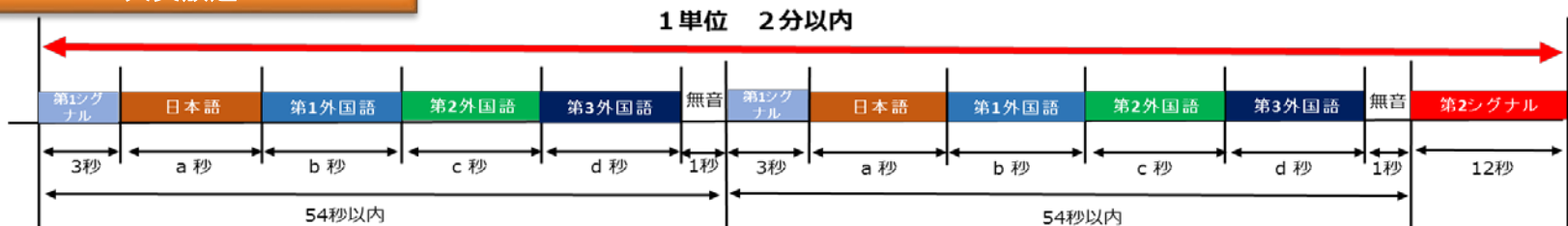
※ 参考資料5-7から抜粋

- 放送種別(火災放送、感知器発報放送、非火災報放送)ごとに言語数は変えないこととする。
- 外国人に配慮した警報音声メッセージは、「日本語」と「英語」の2ヶ国語を原則とし、実態に応じて以下の対策を施設側が選択することも可能とする。
 - ・ 外国人でも理解できる「やさしい日本語」によるメッセージを採用する。
 - ・ 中国語(北京語)や韓国語その他の外国語を英語に代えて、又は、日本語と英語に付加する。
- 外国語を付加する場合には、必要最低限の言語数とすること。
 なお、最長でも告示基準4、4(1)に定める放送の1単位を感知器発報放送及び非火災報放送にあつては1分以内、火災放送にあつては2分以内で放送すること。

感知器発報放送・非火災報放送



火災放送



- 中国語は、原則として北京語を採用する。

外国人等に配慮した非常用放送設備の音声警報メッセージの考え方(案)

【9月21日時点版】の概要(4/4)

<WG1>

外国人でも理解できる「やさしい日本語」によるメッセージ(案)

| | 感知器発報放送 | 火災放送 | 非火災報放送 |
|------------------------------|---|---|--|
| 伝える内容 6号告示 (※1) | <ul style="list-style-type: none"> ① 自動火災報知設備の感知器が作動した場所 ② 火災発生の確認中である旨の情報 | <ul style="list-style-type: none"> ① 火災である旨の情報 ② 火災が発生した場所 ③ 避難誘導 | <ul style="list-style-type: none"> ① 自動火災報知設備の感知器の作動は非火災報であった旨の情報 |
| 現行文例 22号通知 (※2) | <ul style="list-style-type: none"> ① ただいま〇階の火災感知器が作動しました。 ② 係員が確認しておりますので、 ● 次の放送にご注意ください | <ul style="list-style-type: none"> ① 火事です。火事です。 ② 〇階で火災が発生しました。 ③ 落ち着いて避難してください。 | <ul style="list-style-type: none"> ① さきほどの火災感知器の作動は、確認の結果、異常がありませんでした。 ● ご安心ください。 |
| 外国人でも理解できる「やさしい日本語」によるメッセージ例 | <ul style="list-style-type: none"> ① 〇階で□火事かもしれません■ ② 本当に□火事か□調べています■ ● 火事か□どうか□わかったら□知らせます■ | <ul style="list-style-type: none"> ① 火事です□火事です□ ② 〇階で□火事です■ ③ まわりを□よく□見て□逃げて□ください■ | <ul style="list-style-type: none"> ① 火事かもしれないと□知らせましたが□間違いでした■ 火事では□ありません■ ● 安心して□ください■ |

※1 非常警報設備の基準(昭和44年消防庁告示第6号)

※2 放送設備の設置に係る技術上の基準の運用について(平成6年2月1日 消防予第22号)

※3 文節の切れ目や、文と文の間にポーズを入れる。□は短いポーズ、■は長いポーズを示す。

※4 「やさしい日本語」とは、日本に来て1年前後の外国人でも、80%以上が自分の命を守るための情報を的確に理解できるよう表現した日本語のことであり、メッセージ例は「<増補版>「やさしい日本語」作成のためのガイドライン」(弘前大学社会言語学研究室)に基づき作成したものである。

2 外国人来訪者等に配慮した火災時等の情報伝達・ 避難誘導を目的とするデジタルサイネージ活用指針 (案)【9月21日時点版】の概要

外国人来訪者等に配慮した火災時等の情報伝達・避難誘導を目的とする デジタルサイネージ活用指針(案)【9月21日時点版】の概要(1/6) <WG1>

火災時等におけるデジタルサイネージ活用の現状

- 火災時等にデジタルサイネージを活用するための統一的な基準がなく、表示するメッセージやピクトグラムは施設ごとに異なる。
- 消防用設備等との連動については、ほぼ知見や実績がない。
- 火災時等にデジタルサイネージを活用する際、外国人来訪者等に対して具体的にどのようなことを配慮する必要があるのかが明確ではない。

ガイドライン骨子で取りまとめられた外国人来訪者等のニーズ等(抜粋)

共通的なニーズ

- 多言語(日本語含む)の文字や映像(避難経路図、ピクトグラム等)など複数の視覚情報を組み合わせて以下の事項を伝達
 - ・どこで、何が発生したか
 - ・危険か否か(誤報か否か)
 - ・どのような行動をとるべきか(直ちに避難すべきか、どこに避難すべきか等)
- 非常放送を行うタイミングで(プッシュ型で)サイネージ画面を一斉に切り替えて情報を伝達
- 多言語表示させる際、文字・レイアウト等を見やすい大きさに画面上に表示
- 現在地や避難する方向など、状況に応じて適切な情報を伝達

その他障害を有する方のニーズ

- (弱視者は)デジタルサイネージ、電光掲示板等でも対応できる場合がある
- 映像、モニター等で伝えてほしい
- 避難方法を映像で表示してもらいたい
- 車いすが手動の場合、自分の車いすで避難をしたい。階段以外での上下移動をできる手段を考慮してほしい
- 一時的に退避できる場所に避難するなど、避難者の心身の状態に即して対応してほしい



外国人来訪者等のニーズを踏まえ、火災時等にデジタルサイネージを活用するための統一的なガイドラインの作成を検討。

外国人来訪者等に配慮した火災時等の情報伝達・避難誘導を目的とする デジタルサイネージ活用指針(案)【9月21日時点版】の概要(2/6) <WG1>

※ 参考資料5-8から抜粋

デジタルサイネージ活用指針(案)の構成と概要

| | |
|-------------------------|---|
| 1 本指針の趣旨 | <ul style="list-style-type: none"> 外国人来訪者等に対しても有効な情報伝達と避難誘導を行うために、消防用設備等を補完するものとしてデジタルサイネージの活用促進を図ることを目的とする旨を記載。 |
| 2 用語の定義 | <ul style="list-style-type: none"> デジタルサイネージ等の定義を記載。 |
| 3 本指針の対象とするデジタルサイネージ | <ul style="list-style-type: none"> デジタルサイネージにはディスプレイ表示を遠隔操作又は他の設備等との連動により切り替えられるものと切り替えられないものがあり、本指針では原則として前者を対象とする。 |
| 4 火災時等にディスプレイ表示を切り替える方法 | <ul style="list-style-type: none"> 自動でディスプレイ表示を切り替える場合、原則として放送設備と連動させて、放送種別(感知器発報放送、火災放送、非火災報放送)に合わせて切り替える。 手動でディスプレイ表示を切り替える場合、防災センター等において自衛消防隊員等が操作することとし、適切に操作できるようマニュアルの作成等を行う。 |
| 5 火災時に適切に作動させるための措置 ● | <ul style="list-style-type: none"> 常用電源が切断された場合でもデジタルサイネージを活用するための措置やネットワーク環境を確保するための措置を記載。 |
| 6 火災時に表示するコンテンツ | <ul style="list-style-type: none"> 表示コンテンツの「表示内容」、「多言語による文章表示」、「文字」、「色」、「絵・図等(ピクトグラム)」、「画面構成」、「表示コンテンツ例」について記載。 ※詳細は次ページを参照。 |
| 7 その他 | <ul style="list-style-type: none"> 火災時等にはデジタルサイネージのディスプレイに火災に関する情報が表示されることを平常時から周知することなど、その他必要な事項を記載。 |

※「原則として対応することが望ましい基本的事項」:無印

「各施設の実態や技術の発展状況等により可能であれば対応することが望ましい事項」:● と区分して記載。

外国人来訪者等に配慮した火災時等の情報伝達・避難誘導を目的とする デジタルサイネージ活用指針(案)【9月21日時点版】の概要(3/6) <WG1>

【6 火災時に表示するコンテンツ】の概要

※ 参考資料5-7から抜粋

| (1)表示内容 | (2)多言語による文章表示 | (3)文字 | | | | | | | |
|---|---|--|------|------|--|-----|-----|-----|-----|
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 火災に係る情報を伝達するための事項 <ul style="list-style-type: none"> ・火災が発生した場所や感知器が作動した場所 ・非火災報であった旨の情報 ・その他火災に係る情報 ○ 避難誘導するための事項 <ul style="list-style-type: none"> ・避難を促すための情報 ・避難経路や方向の情報 ・その他避難するために必要な情報(スロープによる避難経路や一時待機エリアの表示等) | <ul style="list-style-type: none"> ○ 表示する言語 <ul style="list-style-type: none"> ⇒原則として日本語と英語 ○ 表示する文章 <ul style="list-style-type: none"> ⇒原則として非常用放送設備の放送内容を踏まえた文章を採用(施設の実態に応じてやさしい日本語を採用) ○ 表示方法 <ul style="list-style-type: none"> ⇒原則として日本語と外国語を併記● ((3)の最低限の文字の大きさが確保できない場合は切り替えも可) ⇒各言語は上下にまとめて表示● | <ul style="list-style-type: none"> ○ 表示方法 <ul style="list-style-type: none"> ⇒重要な情報は最も大きな文字で上部に表示 ⇒文字数は日本語で1画面80文字まで ○ 大きさ <ul style="list-style-type: none"> ⇒ロービジョンの方にも配慮した大きさ ○ 書体 <ul style="list-style-type: none"> ⇒視認性が高いゴシック体系の書体やUD(ユニバーサルデザイン)書体を使用 <p>【UD書体例】</p> <p>出口案内 出口案内</p> | | | | | | | |
| (4)色 | (5)絵・図等 | (6)画面構成 | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ○ 色はJIS規格の安全色を使用 ○ ロービジョンや色覚異常等の特性を有する方に配慮し、白黒反転表示(背景色を暗色、文字を明色) | <ul style="list-style-type: none"> ○ 避難経路を伝達するために平面図を用い、文字やピクトグラムを組み合わせ、外国人来訪者等にもわかりやすく伝達 | <ul style="list-style-type: none"> ○ 以下のような構成要素を推奨 <div data-bbox="1296 943 1870 1126" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>タイトル:情報種別、発生日時、施設名</p> <p>情報1 :火災状態</p> <p>情報2 :状況説明、行動指示</p> </div> | | | | | | | |
| <p>【利用を推奨する「JIS Z8210」規格のピクトグラム】</p> | | | | | | | | | |
| <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>非常口</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>スロープ</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>階段</p>  </div> </div> | <div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;"> <p>一般注意</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>消火器</p>  </div> <div style="text-align: center;"> <p>矢印</p>  </div> </div> | <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; text-align: center; color: red;">タイトル</td> <td rowspan="3" style="width: 10%; text-align: center; color: red; vertical-align: middle;">タイトル</td> <td style="width: 57%;"></td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; color: red;">情報1</td> <td style="text-align: center; color: red;">情報1</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center; color: red;">情報2</td> <td style="text-align: center; color: red;">情報2</td> </tr> </table> | タイトル | タイトル | | 情報1 | 情報1 | 情報2 | 情報2 |
| タイトル | タイトル | | | | | | | | |
| 情報1 | | 情報1 | | | | | | | |
| 情報2 | | 情報2 | | | | | | | |

外国人来訪者等に配慮した火災時等の情報伝達・避難誘導を目的とする デジタルサイネージ活用指針(案)【9月21日時点版】の概要(4/6) <WG1>

感知器発報放送時の表示コンテンツ例

※ 参考資料5-8から抜粋

① 感知器発報放送時(日本語メイン、英語サブ)

ぼうさいじょうほう
防災情報
Disaster prevention information

8月22日 10時00分
10 Aug. at 10:00 a.m.

しょうぼうちやう
消防庁ビル
shoubou Building

かい かじ
3階で 火事かもしれません。

ほんとう かじ しら
本当に 火事が 調べています。

かじ し
火事か どうか わかったら 知らせます。

Now a fire alarm on the third floor has been activated.
We are now investigating to confirm.
Please listen carefully for the next announcement.

② 感知器発報放送時(英語メイン、日本語サブ)

ぼうさいじょうほう
防災情報
Disaster prevention information

8月22日 10時00分
10 Aug. at 10:00 a.m.

しょうぼうちやう
消防庁ビル
shoubou Building

**Now a fire alarm on the third floor
has been activated.**

We are now investigating to confirm.
Please listen carefully for the next announcement.

かい かじ
3階で 火事かもしれません。

ほんとう かじ しら
本当に 火事が 調べています。 火事か どうか わかったら 知らせます。

Now a fire alarm on the third floor has been activated.
We are now investigating to confirm.
Please listen carefully for the next announcement.

③ 感知器発報放送時(避難経路図パターン1)

ぼうさいじょうほう
防災情報
Disaster prevention information

かい ひなんけいろうじょうほう
2階 避難経路情報
Second floor evacuation route information

かい
3階で
かじ
火事かもしれません。

ほんとう かじ しら
本当に 火事が 調べて
ています。

かじ
火事か どうか わか
ったら 知らせます。

Now a fire alarm on the third floor has been activated.
We are now investigating to confirm. Please listen carefully for the next announcement.

いぢたいき
★ 待機エリア
Area of Rescue Assistance

げんざいち
現在地
You're right here.

Hall A, Hall B, Room 2, Room 3, Room 4

④ 感知器発報放送時(避難経路図パターン2)

ぼうさいじょうほう
防災情報
Disaster prevention information

かい ひなんけいろうじょうほう
2階 避難経路情報
Second floor evacuation route information

かい
3階で 火事が
かじ
かもしれません。

ほんとう かじ しら
本当に 火事が 調べて
ています。

かじ
火事か どうか わか
たら 知らせます。

Now a fire alarm on the third floor has been activated.
We are now investigating to confirm. Please listen carefully for the next announcement.

かい かじ
3階で 火事が
かじ
かもしれません。

ほんとう かじ しら
本当に 火事が 調べて
ています。

かじ
火事か どうか わか
たら 知らせます。

いぢたいき
★ 待機エリア
Area of Rescue Assistance

げんざいち
現在地
You're right here.

Hall A, Hall B, Room 2, Room 3, Room 4

外国人来訪者等に配慮した火災時等の情報伝達・避難誘導を目的とする デジタルサイネージ活用指針(案)【9月21日時点版】の概要(5/6) <WG1>

火災放送時の表示コンテンツ例

※ 参考資料5-8から抜粋

① 火災放送時(日本語メイン、英語サブ)

ぼうさいじょうほう
防災情報
Disaster prevention information

8月22日 10時00分
10 Aug. at 10:00 a.m.

しょうぼうちやう
消防庁ビル
shoubou Building

かじ
火事です。

かい かじ
3階で 火事です。
まわりを よくみて 逃げてください。

There is a fire.
A fire has started on the third floor. Please evacuate in orderly fashion.

② 火災放送時(英語メイン、日本語サブ)

ぼうさいじょうほう
防災情報
Disaster prevention information

8月22日 10時00分
10 Aug. at 10:00 a.m.

しょうぼうちやう
消防庁ビル
shoubou Building

There is a fire.

A fire has started on the third floor.
Please evacuate in orderly fashion.

かじ
火事です。

かい かじ
3階で 火事です。
まわりを よくみて 逃げてください。

③ 火災放送時(避難経路図)

ぼうさいじょうほう
防災情報
Disaster prevention information

2階 避難経路情報
Second floor evacuation route information

かじ
火事です。

かい かじ
3階で 火事です。
まわりを よく見て
逃げてください。

There is a fire.
A fire has started on the third floor.
Please evacuate in orderly fashion.

いもじたいき
一時待機エリア
Area of Rescue Assistance

げんざいち
現在地
You're right here.

Room 2 Room 3 Room 4

④ 火災放送時(避難方向指示)

ぼうさいじょうほう
防災情報
Disaster prevention information

かじ
火事です。

かい かじ
3階で 火事です。
まわりを よく見て
逃げてください。

There is a fire.
A fire has started on the third floor.
Please evacuate in orderly fashion.

←

→

スロープ
Slope

非火災報放送時の表示コンテンツ例

※ 参考資料5-8から抜粋

① 非火災報放送時(日本語メイン、英語サブ)

ぼうさいじょうほう
防災情報
Disaster prevention information

8月22日 10時00分
10 Aug. at 10:00 a.m.

しょうぼうちやう
消防庁ビル
shoubou Building

か し
火事では ありません。

か し し
火事かもしれないと 知らせましたが

まちが あんしん
間違いでした。 安心して ください。

Although the fire alarm has been activated, this is a false alarm.
No trouble was found. Please disregard.

② 非火災報放送時(英語メイン、日本語サブ)

ぼうさいじょうほう
防災情報
Disaster prevention information

8月22日 10時00分
10 Aug. at 10:00 a.m.

しょうぼうちやう
消防庁ビル
shoubou Building

Although the fire alarm has been activated, this is a false alarm.
No trouble was found. Please disregard.

か し
火事では ありません。

か し し まちが
火事かもしれないと 知らせましたが 間違いでした。

あんしん
安心して ください。

震災時の表示コンテンツ例

① 震災時時(日本語メイン、英語サブ)

ぼうさいじょうほう
防災情報
Disaster prevention information

8月22日 10時00分
10 Aug. at 10:00 a.m.

しょうぼうちやう
消防庁ビル
shoubou Building

おお じしん き
大きい 地震が 来ます。

あたま まも
頭を 守って ください。

Strong tremors will soon hit.
Protect your head.

② 震災時時(英語メイン、日本語サブ)

ぼうさいじょうほう
防災情報
Disaster prevention information

8月22日 10時00分
10 Aug. at 10:00 a.m.

しょうぼうちやう
消防庁ビル
shoubou Building

Strong tremors will soon hit.
Protect your head.

おお じしん き
大きい 地震が 来ます。

あたま まも
頭を 守って ください。

3 消火器のピクトグラムを活用した情報伝達の方策(案) 【9月21日時点版】の概要

消火器を直接視認できる場合(床置き、壁掛けなど)

消火器が設置されていることを確実に認識することができることから、消火器のピクトグラムの設置により、「消火器」と表示した標識の設置を設けないことができることとする。



消 火 器

消火器を直接視認できない場合(格納箱等に収納する場合)

消火器ピクトグラムのみでは設置位置を認識することができないおそれがあることから、消火器のピクトグラムを設置するとともに、格納箱等に「消火器」と表示することとする。



設置を推奨する施設

外国人来訪者等が多く使用することが想定される「駅・空港」、「競技場」、「旅館・ホテル等の宿泊施設」、「その他多数の外国人来訪者等が利用することが想定される施設」に対して設置を推奨する。

設置を推奨する場所

多数の者が立ち入り又は通行する場所に設ける消火器に対して設置を推奨する。

設置方法

- ピクトグラムの大きさは、9cm角以上とする。
- 設置高さは、隣接する屋内消火栓の表示灯高さに合わせる等、視認性の高い位置に設置する。
- 大規模空間に設置する場合は大きいピクトグラムを高い位置に設置する等、設置場所の空間特性に配慮して設置する。